

文部科学省 予算監視・効率化チームの
上半期(4～9月)活動状況について

平成22年11月16日

文部科学省

(1) チームリーダーによる上期取組み総評

① 重点を置いているテーマ・考え方

予算執行に関する各種の検証を行うことによる、限られた予算の活用。
そのためには単年度予算や調達手続など改善すべき制度上の課題があることを認識し、これを解決するため財務省や会計検査院など関係省庁と協議する場を設ける必要性を痛感している。

② 上期の取組みについて

チームとしての取り組みについては、上半期においては、予算執行計画に定められた取組を着実に実行した。また「行政事業レビュー」によって、予算の支出先や用途が明瞭になり、予算が有効かつ効率的に執行されているかが明らかとなった。これを踏まえ、平成22年度予算に対して約1,226億円の削減を概算要求に反映した。

更に本チームの下に特命チームを置き、予算財政制度の改善に関する中間報告をまとめ関係府省へ要請を行った。

③ 課題認識を踏まえた下期取組みに向けて

- ・「支出負担行為に関する計画」の策定・公表及び進捗管理の取組により、これまで以上に年度末の「駆け込み執行」を抑制でき、有意義な取組みであると考えている。
- ・行政事業レビューにより、予算を確保する必要性のみならず、予算執行を含めて検証する重要性について、すべての職員が認識を深めるよい契機にもなった。
- ・「予算執行上の重要な決定等についての事前審査」については、審査に多くの情報を用いるため、予想以上に手間がかかった。今後は、あらかじめ論点を整理するなど、より一層の工夫の必要があるものと考えている。
- ・特命チームがまとめた中間報告をベースに、更にデータを収集・検証を行い、予算制度の改善に関する最終報告をまとめる。

(2) 外部有識者による上期取組みコメント

- ・「行政事業レビュー」の公開プロセスにおいては、大変厳しい視点から各事業の評価ができた。この視点を各事業へ横断的に適用していくことにより、予算の一層の効率化につなげるべきである。なお、行政事業レビューの重要性を踏まえると、外部有識者は事業に対する相当の知識を有する必要がある、その知識に基づく責任ある発言が求められると感じた。(清水委員)
- ・「行政事業レビュー」の公開プロセスでは充実した議論ができ、外部の視点を行政に取り入れることの重要性を認識したが、他方で本取組における「国民の声」の受付件数は36件にとどまっていることから、国民の声をより一層くみ上げる努力が必要なものと考ええる。(和田委員)

(3) 予算監視・効率化の推進体制

チームリーダー	: 鈴木副大臣(主担当) 笹木副大臣
サブリーダー	: 林大臣政務官
チーム事務局長	: 大臣官房長
チームメンバー	: 各局課筆頭課長等
外部有識者	: 清水幹裕(弁護士) 和田義博(公認会計士)

(4) 平成22年度予算執行計画の公表日と掲載場所

公表日：平成22年4月7日

掲載場所(HPアドレス)：

http://www.mext.go.jp/a_menu/kouritsu/detail/1294914.htm

(5) 予算監視・効率化チーム定例会合の開催状況

第1回：平成22年3月31日

主なテーマ：平成22年度予算執行計画の策定等

第2回：平成22年7月29日

主なテーマ：特命事項への取組(研究費・プロジェクト系教育経費の効果的な予算措置
の検討ほか)

※第3回会合を平成22年10月28日に実施済

(6) 支出負担行為又は支出に関する計画の進捗管理

(i) 計画立案対象経費

- ・政策評価体系における各施策目標の達成手段である事業のうち、
主要なものに係る経費(全58事業)【補助金等】
- ・文部科学本省・文化庁の共通費【旅費及び庁費の類】

(ii) 進捗管理の上期実施状況

① 上期の取組み・進捗コメント

1. 施策を構成する主な事業 (対象事業58事業)

(1) 第2四半期までの支出負担行為計画執行状況

進捗率*	事業数	合計に占める割合
100%以上	8	13.8%
100%	13	22.4%
80%以上~100%未満	25	43.1%
50%以上~80%未満	5	8.6%
50%未満	7	12.1%
合計	58	100.0%

進捗率80%以上
46事業約79.3%

※進捗率= (第1及び第2四半期実績額) / (第1及び第2四半期予定額)

(2) 分析

全58事業のうち約8割である46事業の進捗率が、80%以上に達することから、省全体としては概ね順調に推移していると考えられる。

② 上期進捗実績表: 別添

(iii) 開示の対応状況

第1四半期実績: 公表済

第2四半期実績: 10月28日の定例会合後に公表予定

2. 事務経費

(1) 第2四半期までの支出負担行為計画執行状況

事務経費においては、文部科学本省共通費の旅費の類(2目)、庁費の類(4目)、並びに文化庁共通費の職員旅費、庁費の類(2目)を対象にしている。

○ 文部科学本省共通費及び文化庁共通費の進捗率* (単位: 百万円)

区分	旅費	庁費	計
A 文部科学本省共通費	〔予定額 58 実績額 51〕 89%	〔予定額 1,676 実績額 1,342〕 80%	(実績額1,393/予定額1,734)
B 文化庁共通費	〔予定額 0.9 実績額 0.8〕 90%	〔予定額 208 実績額 176〕 85%	(実績額177/予定額209)
C 文部科学省所管	〔予定額 59 実績額 52〕 89%	〔予定額 1,884 実績額 1,518〕 81%	(実績額1,570/予定額1,943)

(予定額=第1及び第2四半期予定額、実績額=第1及び第2四半期実績額)

※進捗率= (第1及び第2四半期実績額) / (第1及び第2四半期予定額)

※Cの欄については加重平均している。

(2) 分析

文部科学省所管共通費全体の進捗率を見た場合、旅費の類については89%、庁費の類については81%と、省全体としては概ね順調に推移していると考えられる。

(7) 予算執行上の重要な決定等についての事前審査

(i) 事前審査対象の範囲

- ・施策を構成する主要な事業に係る経費(上記(6)(i))に含まれる補助金等の交付決定及び委託費による契約。
- ・1億円(随意契約は1, 500万円)以上の調達契約(委託費を除く)。

(ii) 事前審査の上期取組み(実施件数を含む。)

- ・定例会合で審査:補助金等10件
 - ・有識者が参加する審査委員会等へ委任して審査:補助金等5件、調達契約36件
- 以上については、いずれも予算執行の必要性、効率性、公平性及び透明性が確保されているとの審査結果であった。

(8) 国民の声の受付・対応

(i) 受付体制の整備状況

4月19日に文部科学省ホームページ上に「予算執行に関するご意見の募集」を設置した。
http://www.mext.go.jp/a_menu/kouritsu/detail/1292529.htm

(ii) 上期受付状況(件数、及び主な内容)

- ・件数:36件
- ・主な内容:「予算執行の透明性の向上」
「予算を効果的に使用できるよう、国立大学法人等の会計処理・監査体制の見直し」など

(iii) 開示の対応状況:HPによる公表

- ・第1四半期実績:公表済
- ・第2四半期実績:10月28日の定例会合後に公表予定
- ・http://www.mext.go.jp/a_menu/kouritsu/detail/1292397.htm

(9) 予算執行の効率化等に向けた職員参画向上等の取組み

①会計事務研修

- ・会計諸法令に関する基本的知識を修得し、実務への理解を深めて効率的・効果的な事業の推進に資するため、5月～7月にかけて階層・職務経験別に会計事務研修を実施(受講者数:延べ707人)。
- ・効率化やコストを意識して業務に取り組むことができるよう、無駄学の専門家を招いて「無駄とゆとりを科学する」をテーマとした講演を実施。

②職員からの意見受付

- ・4月に行政経費の削減・効率化のための具体的な方策についての職員からの意見受付窓口(電話番号・電子メールアドレス)を設置。

(10) 予算要求への反映

○行政事業レビュー

- ・反映事業数:356事業
- ・反映額:対平成22年度約△1,226億円
- ・「行政事業レビュー点検結果の平成23年度概算要求への反映状況について」をHPにて公表

http://www.mext.go.jp/a_menu/kouritsu/detail/_icsFiles/afieldfile/2010/09/22/1297181_1_1.pdf

(11) 「予算執行の情報開示充実に関する指針」に基づく開示状況

別表参照

(12) その他の取組み

チームリーダーの特命事項として、予算の効率的執行を図るため予算執行上の課題を抽出し、その改善策を提案すべく検討を行っている。この特命事項のうち、チームの第2回会合においては、特に「研究費・プロジェクト系教育経費の効果的予算措置」を中心に検討状況の中間報告を行った。

(13) 予算執行計画を含む、予算監視・効率化の取組み全体の自己評価

(i) 予算執行計画を含む、予算監視・効率化の取組み全体の自己評価

予算監視・効率化の取組全体については、概ね順調に実施されている。年度当初からの補助事業の計画的執行については、計画より遅れている事業が見られることを踏まえ、残りの手続きを速やかに実施するとともに、来年度の計画の策定について、早期に手続きを開始できるよう工夫するなど改善の余地があると考えます。

(ii) 開示の対応状況

第1四半期、第2四半期実績における予算執行計画の自己評価をHPIにて公表済。
http://www.mext.go.jp/a_menu/kouritsu/detail/1292397.htm

「予算執行の情報開示充実に関する指針」に基づく開示状況について

別表

「予算執行の情報開示充実に関する指針(平成22年3月31日 内閣官房国家戦略室)」に盛り込まれた事項にかかる開示状況については、以下の通り。

指針事項	開示の対応状況
1. 予算執行情報開示に関する一元的なアクセスポイントの創設	http://www.mext.go.jp/a_menu/kouritsu/detail/1295664.htm
2. 予算執行状況の継続的な開示	(1)平成22年度第1四半期分:8月20日に公表済 (2)平成22年度第2四半期分:11月中旬公表予定
3. 予算執行に関する意思決定の情報開示	(1) 公共調達に関する情報開示 契約に係る情報:10月25日現在1,771件公表済。補助金等の交付決定・随意契約見直しに関する情報の公表については、平成22年度第1四半期分は9月17日に日に公表済、第2四半期分は11月中旬公表の予定。 (2) 公共事業等に関する情報開示 該当無し。 (3) 補助金に関する情報開示 平成22年度第1四半期分は8月20日に公表、第2四半期分は11月中旬公表の予定。
4. 予算の支出目的に着目した情報開示	(1) 委託調査費 平成22年度第1四半期分は8月20日に公表、第2四半期分は11月中旬公表の予定。 (2) タクシー代 平成22年度第1四半期分は8月20日に公表、第2四半期分は11月中旬公表の予定。